

鳥羽商船高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)	授業科目	English Communication 1
科目基礎情報					
科目番号	0012		科目区分	一般 / 必修	
授業形態	演習		単位の種別と単位数	履修単位: 2	
開設学科	商船学科		対象学年	1	
開設期	前期		週時間数	前期:4	
教科書/教材	Power On I (東京書籍)『Power On English Communication I Workbook』(東京書籍)、『クラウンチャックで英単語Basic』(三省堂)、『クラウンチャックで英単語Basic Workbook ドリルノートブック①②』(三省堂)、『グランドセンチュリー英和辞典第3版』(三省堂)				
担当教員	栢山 剛				
到達目標					
・簡単な英語で書かれた比較的短い文章を直読直解できる。 ・英語での指示や質問の内容を理解できる。 ・基本的な構文を理解し、それを用いて簡単な英文を書ける。 ・決まったフレーズを用いて、自己紹介や簡単な会話ができる。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
評価項目1	簡単な英語で書かれた比較的短い文章を正確に直読直解できる。		簡単な英語で書かれた比較的短い文章を直読直解できる。		簡単な英語で書かれた比較的短い文章であっても直読直解できない。
評価項目2	英語での指示や質問の内容を正確に理解できる。		英語での指示や質問の内容を理解できる。		英語での指示や質問の内容を正しく、または全く理解できない。
評価項目3	基本的な構文を十分に理解し、それを用いて簡単ではあるが正確な英文を書ける。		基本的な構文を理解し、それを用いて簡単な英文を書ける。		基本的な構文を理解できない。それを用いて簡単な英文も書けない。
評価項目4	決まったフレーズを用いて、自己紹介や簡単な会話がスムーズにできる。		決まったフレーズを用いて、自己紹介や簡単な会話ができる。		決まったフレーズを用いても、自己紹介や簡単な会話ができない。
学科の到達目標項目との関係					
教育目標 (A1) 教育目標 (C3) 教育目標 (C4)					
教育方法等					
概要	EC1は週4時間、2単位の半期授業である。 到達目標を目指して、①コミュニケーションへの関心・意欲・態度、②外国語表現の能力、③外国語理解の能力、④言語や文化についての知識、理解などを高める授業を行なう。 教科書『Power On English Communication I』(東京書籍)と並行しながら『クラウンチャックで英単語Basic』(三省堂)も使用する。				
授業の進め方・方法	1 授業は講義が中心となる。 2 各レッスンの扉の写真をしながら、本文の内容について簡単なやり取りをする。 3 新出単語や連語についての発音と意味を確認する。 4 扱われている文法事項を確認、理解し、本文理解の助けとする。 5 本文の音声を聞き、音読練習を様々なやり方で行なう。 6 本文を訳読し、その内容に関する設問に答える。 7 課末の文法を中心とした練習問題を行ない知識を定着させ、会話表現を利用しながら表現活動を行なう。 8 ワークブックを利用し、レッスン全体の復習を行なう。				
注意点	1 副教材は『Power On English Communication I Workbook』(東京書籍)、『クラウンチャックで英単語Basic』(三省堂)、『クラウンチャックで英単語Basicドリルブック①②』(三省堂)、『グランドセンチュリー英和辞典』(三省堂)である。『クラウンチャックで英単語Basic』の進み方については、授業中で指示する。 2 1回目の授業時に、入学前の課題テキストを提出する。後日、確認テストを行なう。 3 提出物は、期日を厳守のこと。そうでない場合は減点対象となる。 4 予習と復習は必須であり、指名された際には答えることができるような姿勢で授業に臨むこと。 5 評価割合は、試験60、ポートフォリオ(小テストを含む)30、態度10である。「ポートフォリオ」には、ノート、ワークブック、課題及び小テスト(『クラウンチャックで英単語Basic』の確認テスト、入学前課題の確認テスト、スタディサポートの英語の試験)の得点などが含まれる。なお、小テストや提出物が1つでもかけた場合、ポートフォリオは0点となる。				
授業の属性・履修上の区分					
☒ アクティブラーニング		☒ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応	
☒ 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	オリエンテーション 入学前課題の提出と確認 Lesson 1 Mt. Fuji – A Symbol of Japan 日本の象徴、富士山	英語授業を受けるにあたって必要な事柄を理解し、準備できる。 入学前課題を解答し、提出できる。 英語のアルファベットを使って単語を正確に書き、発音できる。 日本の象徴である富士山についての説明文を読み、日本人にとっての富士山がどのような存在であるかを学ぶ。	
		2週	Lesson 1 Mt. Fuji – A Symbol of Japan 日本の象徴、富士山	動詞の現在形・過去形 / 未来表現 / 進行形 予定や感想を述べることを学ぶ	
		3週	Lesson 2 Sleep in Animals	動物の睡眠についての説明文を読み、その特性について学ぶ。	
		4週	Lesson 2 Sleep in Animals	比較表現 / 不定詞 / 動名詞 重要だと思うものを比較したり、意見や感想を述べることをまなぶ	

		5週	Lesson 3 Lesson 3 Nagatomo Yuto—A Long Hard Road to Success サッカー, 長友佑都選手	・サッカー, 長友佑都選手の生い立ちを読み, 世界で活躍する選手になるまでの道のりについて学ぶ。
		6週	Lesson 3 Lesson 3 Nagatomo Yuto—A Long Hard Road to Success サッカー, 長友佑都選手	現在完了形 / S+V+O [=that節] / 受け身 経や願望、意見や感想を述べることができる
		7週	Lesson 3Lesson 3 Nagatomo Yuto—A Long Hard Road to Success サッカー, 長友佑都選手	これまで学んだ項目を理解し, 文を作ることができる。
		8週	Lesson 4Kawaii and Japanese Pop Culture 世界に広がるカワイイ文化	海外で「カワイイ」という日本語がどのように使われ, 日本のポップカルチャーがどのように見られているか学ぶ。
	2ndQ	9週	Lesson 4 Kawaii and Japanese Pop Culture 世界に広がるカワイイ文化	It is[was]+形容詞+to不定詞 / 助動詞 / 関係代名詞 知っていることを述べたり、説明したり、意見や感想を述べることを学ぶ
		10週	Let's Make a Speech! ① Informative Speech	日本の年中行事を紹介する。 日本の年中行事を説明するために必要な内容(いつ, 何を, なぜするか)を理解している。 アイコンタクトやジェスチャーの使い方を理解している。
		11週	Sounds Interesting! ① 音節 Sounds Interesting! ② 語の強勢	音節の特徴をとらえて, 単語を適切に発音することができる。 語の強勢(目立つ音節)の特徴をとらえて, 単語を適切に発音することができる。
		12週	Lesson5Banana Paper バナナペーパー	バナナペーパーの製造工程やエンフ工村にもたらしている影響について学ぶ。
		13週	Lesson5 Banana Paper バナナペーパー	分詞の形容詞用法 / S+V[=be動詞以外]+C / S+V+O+C[=形容詞] 感情を伝える 説明や意見や感想を述べ方を学ぶ
		14週	Lesson5Banana Paper バナナペーパー	分詞の形容詞用法 / S+V[=be動詞以外]+C / S+V+O+C[=形容詞]を理解し, 文を作ることができる
		15週	期末試験	
		16週	試験返却、解答 夏休みの課題についての説明	誤答を訂正できる。 夏休みの課題についての説明を理解できる。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	1	
				明瞭に聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	1	
				中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	1	
				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	1	
			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	1	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	1	
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	1	
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	1	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	1	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	1	
				実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。	1	
			英語運用能力向上のための学習	実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適切に用いることができる。	1	
	工学基礎	グローバルゼーション・異文化多文化理解	グローバルゼーション・異文化多文化理解	それぞれの国の文化や歴史に敬意を払い、その違いを受け入れる寛容さが必要であることを認識している。	1	
				様々な国の生活習慣や宗教的信条、価値観などの基本的な事項について説明できる。	1	
				異文化の事象を自分たちの文化と関連付けて解釈できる。	1	
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	日本語と特定の外国語の文章を読み、その内容を把握できる。	1	
				他者とコミュニケーションをとるために日本語や特定の外国語で正しい文章を記述できる。	1	
				他者が話す日本語や特定の外国語の内容を把握できる。	1	
				日本語や特定の外国語で、会話の目標を理解して会話を成立させることができる。	1	

				円滑なコミュニケーションのための態度をとることができる(相づち、繰り返し、ボディランゲージなど)。			1	
評価割合								
	試験	ポートフォリオ	態度				合計	
総合評価割合	60	30	10	0	0	0	100	
基礎的能力	60	30	10	0	0	0	100	
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0	
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0	